この間のあれ！やりたい！

　子どもたちが過ごす保育室。そこには子どもたちの遊びの跡や保育者の願いがいっぱい！
　４月、クラスのお友達が家で遊んだことを、園で楽しみ始めたことをきっかけに、ブームになったスクラッチは５月になった今、子どもたちの「いつもの遊び」になっています。

　家庭と園での遊びの中で生まれたこのブームを保育者も大切にしたいと、子どもの作品を保育室に展示したり、すぐに遊びを始められるように、必要な素材を子どもの手の届くところに置いたりと、工夫を凝らしています。

　今ある環境をどう楽しむのか、子どもの姿を観察し、子ども理解を深め、環境の再構成を行う。保育って子ども理解から始まるんです。
　子ども自らが選び、遊び、工夫する。この過程で教えたり教えられたり、子ども同士の相互作用もどんどん生まれていく。遊びの中で子どもたちはたくさん学んでいます。

子どもの遊びを支える環境はまだまだ変化・変容していくんだろうなと感じます。

2024/05/27 作成者：福丸直宏